

~出会い100選~その18 堀本 宣行さん

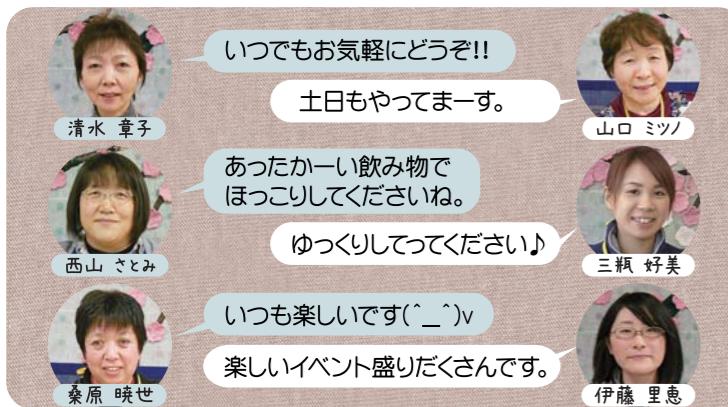
双葉警察署主催のキャンドル作りに少年補導員として参加されていた堀本さんとおだがいさまセンターでお会いしました。

富岡町では、清水前にお住まいで建具屋さんをしていました。双葉署の少年補導員として約10年活動し、交通安全協会の活動は30年ほど続けていました。子ども達の安全を守るために、登下校時の街頭指導やお祭りなどの交通整理をされていました。また、消防団にも32年所属し、本団の訓練分団長を勤めていた時は、ポンプ操法訓練全国大会に富岡のチームが2回出場することができました。「とてもうれしかったなー」と話してくれました。出初式の時、先頭車両でパレードした事も、なかなか経験することができないことなので、今でも忘れられない思い出になっています。富岡二中の技術家庭の臨時教員としても10年ほど勤めていた堀本さんは、たくさんの子ども達との出会いがあり、町の中で声をかけられることも多く、今はそれがするのが寂しいと話されました。町の為に様々な活動を行ってくれていた堀本さんに、町の皆さんに一言をお願いすると「みなさん、元気でがんばりましょう。」と笑顔が返ってきました。

サロン紹介 ~いわき平交流サロン~

いわき市に富岡町のサロン第一号として、昨年10月にオープンした平交流サロン。毎月いろいろな教室が行われています。今回は、平交流サロンのスタッフのみなさんを紹介します。懐かしい笑顔のスタッフが皆さんをお待ちしています。皆さんぜひ足を運んでみてくださいね。

場所 いわき市平字新田前6-10 連絡先 050-3608-2864
開所時間 10:00 ~ 17:00(土日祝日も開所しています)



みんなの広場

南一丁目仮設住宅にお住いのみなさん。喫茶でお茶を飲みながら編み物の情報交換をし、個々にご自宅で作った色とりどりの作品です。見せていただいた時も、皆さんの笑い声とおはなしに心もぽかぽか温くなりました。



富岡町生活復興支援おだがいさまセンター

(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 制作 バズ・クリエイターズ
ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama QRコードはこちる

いってやっぺみでやっぺ
お知らせコーナー

3月中旬
3月下旬

●第2回「富岡町咲くら希望の集い」

日 時 3月9日(土)受付:午前11時 開会:午前11時半
会 場 迎賓館グランプラス(郡山市安積町)
主 催 富岡町
問 合 TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)

●アロママッサージ&桐の足湯&キャンドルナイト
※時間が変更になる可能性がありますので、ご了承下さい。

日 時 ■3月15日(金)
アロママッサージ 午後1時30分~午後4時00分
桐の足湯 同上
キャンドルナイト 午後4時00分から
場 所 緑ヶ丘応急仮設住宅集会所
日 時 ■3月16日(土)
アロママッサージ 午前10時00分~午後4時30分
桐の足湯 同上
キャンドルナイト 午後4時00分から
場 所 おだがいさまセンター
問 合 TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)

●アロママッサージ&桐の足湯

※時間が変更になる可能性がありますので、ご了承下さい。

日 時 ■3月17日(日)
アロママッサージ 午前10時30分~午後4時00分
桐の足湯 同上
場 所 いわき四倉交流サロン
日 時 ■3月17日(日)
アロママッサージ 午前10時30分~午後2時00分
桐の足湯 同上
場 所 下高久応急仮設住宅集会所
問 合 TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)

●3.11想う会

日 時 3月11日(月)午前10時00分~午後5時00分
場 所 いわき平交流サロン
問 合 TEL:050-3608-2864(いわき平交流サロン)
*ひとりでいるのはいやだなあ、誰かと話したい
なあという方、この日と一緒に過ごしましょう。

●キットで作るつるし雛

日 時 3月14日(木)午前10時から
場 所 いわき玉露交流サロン
参加料 200円(キット代)
申込み 申込み制(15名)
問 合 TEL:0246-38-4242(いわき玉露交流サロン)
*裁縫セットをお持ちの方は、持参願います。

●喫茶つづじ

■おだがいさまセンター
日 時 3月 9日、14日、16日、21日(毎回午前10時~12時)
■南一丁目応急仮設集会所(富岡側)
日 時 3月11日、12日、16日、18日、19日
(毎回午前10時~午後1時)
*沢山の方のご利用をお待ちしております。
みなさんお誘い合わせのうえ気軽に来てください

富岡町生活復興支援おだがいさまセンター情報紙

めでやっぺ!



おだがいさま工房展示会

2月17日(日)おだがいさま工房の第一回展示会を開催しました。当日は天候にも恵まれ、多くの富岡町民はじめ、郡山市民や福島市民など多くの方々に来ていただきました。おだがいさま工房は、昨年7月に開所し、その後は週1回、現在では週4回の研修を重ねてきました。展示会はその集大成といえます。

今回のテーマは「富岡の春」。富岡の春の海や桜、新緑を草木染めで表現し、製品に仕上げました。来場者からは「ここまでクオリティだとは思わなかつた」と感嘆の声がわきあがり、研修生はじめスタッフは大喜び!「これまでがんばってきたかいがあった」とみんなで喜びを共有しました。

また、この日は研修生自身が作った製品を身に着け、ファッショショーンショーを行いました。始まるまでは「恥ずかしい」「嫌だなあ」と話していた研修生でしたが、本番は緊張しながらも、自信を持って製品をアピールしていました。今後とも研鑽を重ね、よりよい製品、そしてふるさと富岡のこころを草木染めで表現し発信していきます!

68号 2013.2.25発行

発行 富岡町生活復興支援
おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内)
連絡先 024-935-3332

中東・北アフリカグループ招聘プログラム

2月7日(木)おだがいさまセンターに国際交流基金の中東・北アフリカグループ招聘プログラムで、クエートとバーレーンの青年リーダー10名が来訪しました。

センター長からあいさつと工房の運営の取り組みについて、センター職員から震災についての話があり、参加したみなさんメモを取りながら、真剣に聞いていました。

町民との対話では、震災前の思い出話に涙を浮かべながら話す姿に、とても心を打たれたと語っていました。

来訪された方の中には日本に来るのが初めてという方もいて、今回の訪問で日本の文化的な面も知ることができ、日本に対するイメージが少し変わったという方もいました。

原発事故の影響で福島県に来ることに危険を感じなかったのかという質問に対して

「危険だというよりは、何かしてあげたいという気持ちの方が強かった」という言葉を頂き、とても温かい気持ちになりました。

また、センターに展示してあるティッシュケースを見て、アラブではティッシュをケースに入れる習慣が無いので、手に取り「かわいいね」と大変喜ばれました。



Topics!

朗読とピアノのコンサート「富岡の空へ」

2月17日(日)午後2時から、福島市杉妻学習センターで、県北地区在住富岡町自治会と杉妻学習センター主催の公演が開かれました。

富岡町民佐藤シゲ子さんの詩集「原発難民の詩」を、朗読と舞踊とピアノ演奏で構成させた作品で、朗読は青木淑子、ピアノ演奏は四家昌博の両氏の出演によりました。

「富岡の空へ」は、昨年10月には郡山市で上演され、2月23日(土)にはいわき文化交流館アリオス小劇場で上演されます。震災後2年、今なお避難生活を続ける町民の思いを、詩の言葉とピアノの音色にのせて伝える公演に、約50名の入場者は聞き入っていました。

参加した子どもたちとはい、ポーズ!!



双葉警察署キャンドルづくり

2月11日(月)郡山市富田町にあるおだがいさまセンターで双葉警察署主催のキャンドルづくりが行われました。この企画は、双葉警察署がおりやまで避難生活をしている子どもと大人の交流を通して、子ども達の健全育成及び非行防止を図る目的で開催され、当日は親子や住民の方約20名程が集まりました。

はじめに双葉署の鈴木さんからお話があり、防犯についてのDVD上映が行われ、その後キャンドルづくりを行いました。

キャンドルづくりでは、紙コップに自分の好きな色のロウを入れ、割りばしでかきまぜながら固め、重ねていきました。子どもたちは、ロウを入れた紙コップに「あつたかーい」と歓声をあげながら作っていました。

おだがいさま工房便り

是非、見に来て下さい。待っています。



おだがいさま工房 第二期生大募集!

昨年7月におだがいさま工房は郡山市内に開所し、先日初めての展示会を行いました。全員がゼロからのスタートでしたが、約半年で立派な製品を作れるまでになりました。工房内はいつも笑い声が絶えず、楽しく真剣に作業しています。

私たちと一緒に、ふるさと富岡をイメージした草木染から製品を作つませんか?

少しでも興味がある方、おだがいさまセンターにご連絡下さい。



在京富岡友の会・新年会

2月9日(土)に、東京都を中心に近県に住まいを有する富岡出身者及び縁故者の有志で結成されている『在京富岡友の会』による新年会が都内で行われました。新年会には会員の他、避難中の町民の方も出席され約50人の参加がありました。

会のはじめに義援金を友の会、福岡県の福岡雙葉学園生徒会より町に贈呈されました。生徒会からは義援金と一緒に心温まる励ましの手紙が読み上げられ、大きな感動が会場を包みました。

おひらき近くに、参加された全員で唱歌「ふるさと」の大合唱となり、終始和やかな会となりました。



好間足湯開催!!

2月10日(日)いわき市の好間応急仮設住宅集会所にて、昨年12月にいわきの学生で結成されたFUKUSHIMA足湯隊による、足湯が開催されました。

好間での日々の足湯に、参加された方からは「若いお兄ちゃんでうれしいわ」と大好評でした。今後は月に1回、いわきの仮設やサロンで足湯を行う予定です。お近くの方はぜひお越しください!



絵画教室(いわき平交流サロン)

2月9日(土)、いわき平交流サロンで絵画教室が行われました。横浜在住の山代春日先生による解りやすく丁寧な指導のもと、参加者はしばし日頃の喧騒を離れ丁寧な色彩に没頭。赤やオレンジ、ピンクなどのガーベラの素敵な絵が完成しました。「久しぶりにこんなに集中した時間を持ったし、自分にこんな素敵な絵が書けるなんて思いもよらなかった。」と、参加者のみなさんは心地よい疲れを感じながら満足した様子でした。



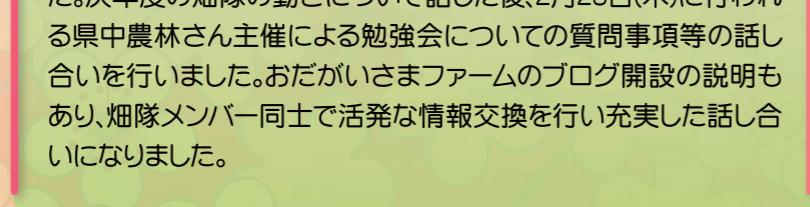
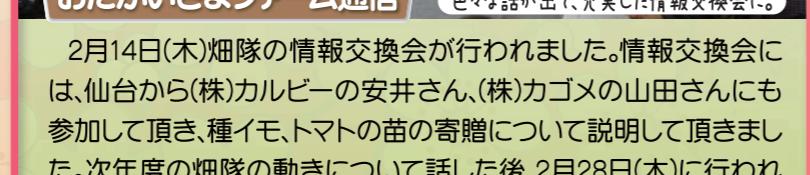
バレンタインクッキング

2月12日(火)、いわき四倉交流サロンでバレンタインチョコ作りをしました。男性の参加者もいて、皆さんチョコ作りは初めてですがサロンの若手職員指導のもと和気あいあいと手際よくチョコを刻み湯せんにかけ溶かし、型に流しいれミルク、ホワイト、ストロベリーの三種類を作り、その他チョコトリュフも作りました。トリュフを作るときにカステラを入れるのは私達も驚きでした。最後にココアパウダーをまぶし完成させました。一際目立っていたのが男性参加者ですが、丁寧な作業を行っていました。参加者からは「こんなに簡単にチョコ作りができるなんて」という言葉もあり、出来上がったチョコとコーヒーでお話しが盛り上がり楽しい時間を過ごしました。



おだがいさまファーム通信

2月14日(木)畠隊の情報交換会が行われました。情報交換会には、仙台から(株)カルビーの安井さん、(株)力ゴメの山田さんにも参加して頂き、種イモ、トマトの苗の寄贈について説明して頂きました。次年度の畠隊の動きについて話した後、2月28日(木)に行われる県中農林さん主催による勉強会についての質問事項等の話し合いを行いました。おだがいさまファームのブログ開設の説明もあり、畠隊メンバー同士で活発な情報交換を行い充実した話し合いになりました。



上映会&防犯活動用ベスト贈呈式

2月12日(火)に南一丁目応急仮設内の『ゆふね』にて「富岡町の現状」と題して、県警察本部・生活安全課が町の様子を撮影してきた映像を放映しました。撮影して来た日が、雪が降った2月6日であったため、夜ノ森のさくらなど街並みの様子がうつる雪化粧。集まった住民の方々も久々の町の様子に食い入るように見ていました。

また、昨年12月に同仮設住宅に入居する富岡町民と川内村民で結成した「おだがいさま隊(パトロールボランティア)」への防犯活動用ベストの贈呈式も行われました。お揃いのベストを着て早速隊員の皆さんで記念撮影。これからも住民の安全・安心を守るためにパトロール活動よろしくお願い致します。

